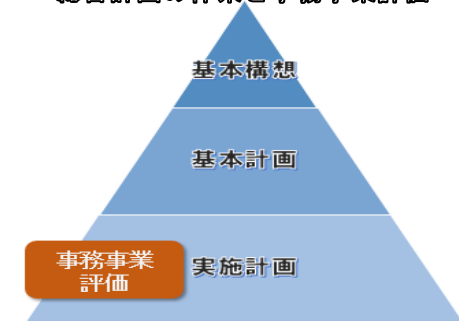


事務事業評価（令和元年度実施事業分）

1. 事務事業評価とは 指摘

行政活動の実効性や効率性を高めていくことを目的として、行政活動全般を多角的な視点で評価・検証し、必要に応じて施策や事業の見直しに繋げていく一連の作業を「行政評価」といいます。本市では、総合計画に基づく具体的な取組である実施計画事業（一般会計繰出金事業等を除く）を対象に、内部での事務事業評価を実施しています。

総合計画の体系と事務事業評価



2. 事務事業評価表の見方

NO	所属 (旧名)	事務事業名	事務的 事業的	事業概要と成果 (事業目的、内容、評価対象年度の主な成果)	決算額	事業の設定指標				評価・振り返り		今後の方向性	
						指標(単位)	目標	実績	達成割合	妥当性・有効性(市がやるべき理由、目的に対する事業自体の有効性)	効率性(費用対効果)・その他改善を図った点	今後の事業展開	方向性
1	企画政策課	プロダクティブ・エイジング推進事業	①	シニア世代になっても元気に活動を続け、地域の元気・活力につながる生き方をさせていただくために、シニアの活躍の場や領域を拡大する取組を推進。 主に、シニアと多様な活動をつなぐプラットフォームとなる、シニアバンクの運営やセカンドライフ応援セミナーを開催して、シニアと多様な活動のマッチングを実施。 〇〇年度は行政提案型協働事業として、シニアネットワークおだわら&あしがら(市民団体)と協働して事業を実施。	500	シニアバンク登録件数(ヒト登録)	100	148	148.0%	②	③	④	見直し・改善

- ① 法律により実施が義務付けられている事業などは「義務的事業」として整理し、該当する場合には、本欄に「○」が表示されています。
- ② 設定指標の目標に対する実績の割合です。なお、義務的事業等は実施が当然であることから、割合算出の対象外としています。
- ③ 市が実施するべきかどうかの「妥当性」、事業目的に対する「有効性」、費用対効果から見る「効率性」の3つの視点で評価をしています。
- ④ 方向性に係る定義は下記のとおりです。
「継続実施」・・・一定の成果が出ていることから引き続き実施。
「見直し・改善」・・・費用対効果を踏まえた事業の縮小や事業内容の更なる充実等を図りながら実施。
「廃止・休止」・・・事業目的の達成等により事業自体を廃止、又は休止。

目次

○企画部

企画政策課	1
広報広聴課	3
公共施設マネジメント課	5
職員課	6
情報システム課	7

○総務部

総務課	8
管財課	8
契約検査課	9
市税総務課	9
市民税課	10
資産税課	10

○公営事業部

事業課	10
-----	----

○市民部

地域政策課	11
地域安全課	14
人権・男女共同参画課	16
戸籍住民課	18

○防災部

防災対策課	19
-------	----

○文化部

文化政策課	21
生涯学習課	24
文化財課	30

図書館	32
-----	----

スポーツ課	35
-------	----

○環境部

環境政策課	39
エネルギー政策推進課	43
環境保護課	43
環境事業センター	49

○福祉健康部

福祉政策課	51
生活支援課	54
高齢介護課	55
障がい福祉課	68
保険課	73
健康づくり課	74

○子ども青少年部

子育て政策課	82
子ども青少年支援課	85
保育課	87
青少年課	89

○経済部

産業政策課	93
商業振興課	98
観光課	100
農政課	102
水産海浜課	108
小田原城総合管理事務所	111

○都市部

都市政策課	113
都市計画課	114
まちづくり交通課	116
建築指導課	118
開発審査課	118

○建設部

建設政策課	118
土木管理課	120
道水路整備課	121
みどり公園課	125
建築課	127

○下水道部

下水道総務課	127
下水道整備課	129

○病院管理局

経営管理課	130
病院再整備課	132
医事課	132

○消防本部及び消防署

消防総務課	133
予防課	135
警防計画課	135
救急課	136
情報司令課	137
消防課（小田原署）	138

○水道局

営業課	138
給水課	138
工務課	139
水質管理課	140

○教育委員会

教育総務課	140
学校安全課	141
教育指導課	144